

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

横路中学校区 校番6 学校名 呉市立横路中学校

a 学校教育目標	自分を育て 道を拓く ～ 自律・協働・貢献 ～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 (学校の使命)  〈ビジョン〉 (将来の学校像)	地域の期待に応えるべく、主体的に学ぶ意欲と規範意識・社会性を身につけ、郷土を愛し、郷土に貢献できる生徒を育成することを使命とする。  「横路中学校で学んで良かった、学ばせて良かった」と言える学校を目指す。
----------	----------------------------	----------------------	--	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた環境の中で学習できるようになったが、自主的、積極的に学ぶ学習意欲が低く、家庭学習の定着にも課題がある。生徒会役員を中心に、生徒が主体となる取組が定着した。</li> <li>・朝の遅刻、長期欠席者、不登校生徒が増加傾向にある。小中で連携を図り、不登校生徒への対応等を進めるとともに学校での居場所づくりの取組やICT機器を効果的に活用し、学習意欲を高める授業改善の取組を重点とする。</li> </ul>
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識及び技能 知識・技能	思考力・判断力・表現力等 論理的思考力	学びに向かう力・人間性等 主体性
-------------	-----------------	------------------------	---------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	① 主体的に学ぶ意欲を育成する	基礎学力の定着と論理的思考力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業改善を図り、学習意欲を向上させる(考える授業を作り出す)</li> <li>②ICT機器の効果的な活用について研修を行う(研究授業を含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒アンケート「根拠を示しながら、自分の考えを説明している」(2-3)生徒の割合</li> <li>③「授業でタブレット端末を活用するのは勉強に役立つ」と考える生徒の割合</li> </ul>	80%  95%						
**	① 他者との協働の態度と社会性を育む	生徒が主体となる教育活動を推進、自尊感情を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>①他者との関わりを深め、共感的な関係を築く</li> <li>②協働の活動、貢献の場の設定により、社会参加の意識と貢献感を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①-1生徒アンケート「授業で自分の思いや考えを安心していうことができる」(8-3)の肯定的評価の割合</li> <li>①-2学校に行くのは楽しいと思う生徒の割合</li> <li>②学校行事後のアンケートで肯定的意見の生徒の割合</li> </ul>	80%  80%  85%						
*	① 生涯を通じて健康で安全な生活を営むための基礎を培う	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立を図る</li> <li>防災教育の深化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本的な生活習慣の確立</li> <li>②長期欠席生徒・不登校生徒を減少させる</li> <li>③地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①朝の遅刻者数を前年度より減少させる</li> <li>②不登校生徒を減少させる</li> <li>③自分が住む地域に起こりやすい災害について理解し、避難する場所や避難の仕方について理解している生徒の割合</li> </ul>	前年比5%以下  5%以下  90%						

業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	分掌等の役割分担を明確にし、組織として取組を充実させる	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合(アンケート調査)	80%						
		長時間勤務の削減	週1回の定時退校の徹底 部活動休養日の定着	時間外勤務が月平均45時間以内の教職員の割合	70%						

【k:評価】  
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100  
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60